

報 告

退院支援を担う看護師の役割に関する国内文献の検討

中村 円, 大日向輝美

札幌医科大学保健医療学部看護学科

【目的】退院支援に関する国内文献で述べられている看護師の役割を整理し、看護師間の連携・協働に向けた課題と方向性について示唆を得るための基礎資料とする。

【方法】医中誌Web版を用いて「退院支援OR退院調整」AND「看護」AND「役割」をキーワードとして検索した。検索された554文献のうち、本研究の目的に合致した15文献を分析対象とした。15文献から看護師の役割として述べられている内容を抽出し、意味内容の類似しているものを質的帰納的に分析した。

【結果】分析対象文献より抽出された看護師の役割は【患者・家族の意思や希望の尊重と実現に向けた関わり】【患者の療養生活を支える家族に焦点を当てた支援】【看護師の退院支援の実践能力を向上させるための教育支援】を含む7カテゴリーに分類された。

【考察】退院支援を担う看護師の役割として、家族に焦点を当てた支援を行うことや退院支援に関する教育支援があると考えられた。また、退院支援においては異なる役割を担う看護師同士がそれぞれの専門性を明らかにし、相互理解を深めた上で連携・協働を進めていく必要性が示唆された。

キーワード：退院支援 看護師の役割 文献検討

The role of nurses for hospital discharge support: A literature review

Madoka NAKAMURA, Terumi OHINATA

Department of Nursing, School of Health Sciences, Sapporo Medical University

【AIMS】To organize nurses' roles as described in the literature on hospital discharge support and utilize the results as means to obtain suggestions and future directions for nurse collaboration and cooperation.

【METHODS】A search was performed using the Ichushi-Web with the keywords "hospital discharge support" OR "hospital discharge coordination" AND "nurse" AND "role." Of the 554 papers retrieved, only 15 aligned with the aims of this study and thus were selected for analysis. The content describing nurses' roles was extracted from these papers, and qualitative and inductive analyses were further performed on passages with similar semantic content to these.

【RESULTS】The role of nurses was found to be as follows: "Respect for the decisions and wishes of patients and their families and their involvement in realization", "Involvement in focusing on families supporting patients' daily life after discharge", and "Educational support to improve the practical ability of nurses to discharge support".

【DISCUSSION】The role of nurses was considered to act as a support system for families and also as educational support regarding hospital discharge. Additionally, in discharge support, it was suggested that nurses with different roles clarify their expertise and deepen their mutual understanding in order to promote effective cooperation and collaboration.

Key words: Discharge support, Role of nurses, Literature review

Sapporo J. Health Sci. 7:55-59(2018)
DOI:10.15114/sjhs.7.55

I. はじめに

近年、在院日数の短縮や在宅医療の推進がいわれ、2012年には地域包括ケアシステムの構築が厚生労働省の政策として掲げられた¹⁾。しかし医療管理や介護を要する患者の増加、核家族化の進行による介護力の低下などの課題により、患者と家族が円滑に在宅療養へ移行するための退院支援の重要性が高まっている。

退院支援を担う看護職には病棟看護師、外来看護師、訪問看護師に加え、退院支援・退院調整を専門とする退院調整看護師がある。2008年の診療報酬改定により各医療機関で退院調整看護師の配置が急速に進められて以降、退院支援を担う看護職は連携・協働のもと各々の役割を果たすことが必要となった。しかし、それぞれの看護師の役割が明確になっておらず、連携・協働した退院支援に関して十分な研究は行われていない。一方、国外では在宅への移行支援に関する研究が行われているものの^{2,3)}、医療制度や看護師資格が異なるため日本の状況に適合させることは難しい。そこで本研究では、退院支援に関する国内文献で述べられている看護師の役割を整理し、連携・協働に向けた課題と方向性についての基礎資料を得ることを目的に文献検討を行った。

II. 用語の定義

1. 退院支援

医療機関からの退院後、どこでどのように療養したいのかを患者・家族が意思決定し、その実現に向けて行われる支援全般のこととする。

2. 看護師の役割

退院支援において、患者・家族や同職種・他職種に対して行われる看護師の働きかけのこととする。

III. 研究方法

1. 文献の抽出方法

医学中央雑誌Web版を用いて「退院支援OR退院調整」AND「看護」AND「役割」をキーワードに「原著論文」を条件として2017年10月3日に検索を行った。発行年の期間の限定はしなかった。収集された554文献について、タイトルから入院形態の異なる精神疾患患者の退院支援に関する文献、商業雑誌・病院紀要等を除外した。さらに抄録から文献レビュー、看護師の役割に言及していない文献を除外し、25文献を抽出した。25文献を精読し、看護師の役割に言及している15文献を分析対象とした。(図1)(表1)

2. 分析方法

15文献を精読し、本研究の目的および用語の定義と照合した上で看護師の役割として述べられている内容を抽出した。それぞれの論文で述べられている看護師の役割は、可能な限り抽象度が同程度の内容を抜き出し、抽象度が高い内容については論文を精読し、意味内容を損なわないように注意しながら補足した。抽出した内容で意味内容の類似しているものを集め、質的帰納的に分析した。データの分析には質的研究の経験を有する研究者からのスーパーバイスを受け、妥当性の確保に努めた。

IV. 結 果

対象文献より108項目の看護師の役割が抽出された。108項目の看護師の役割は、30サブカテゴリーから7カテゴリーに分類された。以下、【 】はカテゴリーを、〈 〉はサブカテゴリーを示す。(表2)

1. 【退院後も安全かつ安心して療養生活を送るための関わり】

このカテゴリーは6サブカテゴリーから構成され、〈在宅療養に必要な援助技術の指導〉や〈退院後も安心して療養

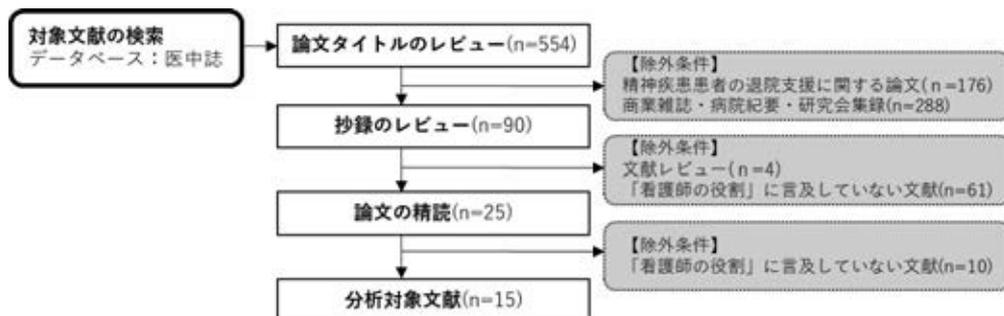


図1 対象文献の選定

表 1 分析対象文献

著者	タイトル	収録誌	対象	方法
山本詩帆, 森下安子	退院調整看護師による病棟看護師の実践能力向上へのかかわり 退院支援における状況の認識・働きかけに焦点を当てて	高知女子大学看護学会誌41(2): 60-69, 2016	退院調整看護師9名	因子探索型研究/ 半構造化面接法
森 京子, 古川智恵	在宅緩和ケアへ移行する終末期がん患者の意思決定を支える看護師の援助	四日市看護医療大学紀要9(1): 23-33, 2016	がん患者の退院支援に関わった看護師4名	半構造化面接法/ 内容分析
井上菜穂美	急性期病院から在宅移行する終末期がん患者の退院支援における看護援助内容と課題	せいいい看護学会誌6(1): 1-7, 2015	病棟看護師13名	半構造化面接法/ 質的帰納的分析
齋藤直美	高齢者の退院調整における熟練看護師の卓越した実践	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録 教員・教育担当者養成課程看護コース40: 186-191, 2015	病棟看護師3名	記述探索的研究/ 半構造化面接法
池田麻左子	急性期病院の小児病棟・NICU・GCUの看護師による退院支援の実際と課題 医療的ケアが必要な重症心身障がい児と家族へのかかわりを通して	日本小児看護学会誌24(1): 47-53, 2015	病棟看護師6名	半構造化面接法/ 質的帰納的分析
柏木ゆきえ	機能障害を来した患者の退院支援における看護師の家族への関わりに関する研究	日本赤十字秋田看護大学日本赤十字秋田短期大学紀要18: 27-35, 2013	病棟看護師10名	半構造化面接法/ 質的帰納的分析
Kanaizumi S	Nursing Practice Supporting the Transition of Technology-Dependent Children from Hospital to Home	The Kitakanto Medical Journal 63(3): 199-208, 2013	病棟看護師7名/ 退院調整看護師2名/ 訪問看護師6名	質的記述的研究/ 半構造化面接法
金子史代, 倉井佳子, 佐藤益美	高齢者のセルフケアを支援する家族への退院支援としての援助技術	新潟青陵学会誌5(3): 41-49, 2013	病棟看護師10名	半構造化面接法/KJ法
酒井康江, 奥野由美子, 竹内玉緒	継続看護が必要な患児の地域連携に関する看護職者らの思い	福岡女学院看護大学紀要2: 85-89, 2011	保健師8名/ 助産師2名/ 看護師13名	質問紙調査/ 質的帰納的分析
田中博子, 伊藤綾子, 真野響子	急性期病院から自宅へつなぐ退院調整看護師の役割	東京医療保健大学紀要6(1): 65-71, 2010	退院調整看護師2名	質的記述的研究/ 半構造化面接法
丸岡直子, 伴真由美, 川島和代 他	退院調整部門の組織発達における看護管理者および退院調整看護師の役割	石川看護雑誌6: 67-76, 2009	看護部長5名/ 副看護部長2名/ 退院調整看護師7名	グループインタビュー/ 質的帰納的分析
沼田祐子	地域医療連携における病棟看護師の役割	日本ヒューマンケア学会誌1(1): 77-83, 2008	病棟看護師11名	参加観察法/ グラウンテッドセオリー
平瀬節子, 橋本智子	高齢者の退院支援にかかわる看護師の役割 地域との連携を通して	看護・保健科学研究誌6(3): 67-75, 2006	退院調整を行った5事例の経過記録	調査研究/KJ法
藤澤まこと, 普照早苗, 森 仁実 他	退院調整看護師の活動と退院支援における課題	岐阜県立看護大学紀要6(2): 35-41, 2006	退院調整看護師1名	対象者への聞き取り調査
丸岡直子, 佐藤弘美, 川島和代 他	退院患者に提供された看護サービスの実態からみた退院調整における病院看護師の役割	石川看護雑誌1: 31-38, 2004	看護部長・看護師長計16名	面接調査

できるような環境の調整」といった退院後も継続する患者・家族の療養生活を支持する役割が示された。

2. 【退院支援の必要性の判断と支援の方向性の検討】

このカテゴリーは3サブカテゴリーから構成され、〈退院支援を進めるためのスクリーニングと問題の明確化〉や〈退院後を見据えた予測を基盤とした支援の方向性の検討〉といった患者・家族の状況から必要な支援を打ち出す役割が示された。

3. 【患者・家族の意思や希望の尊重と実現に向けた関わり】

このカテゴリーは5サブカテゴリーから構成され、〈患者・家族の意思や希望の尊重〉や〈患者・家族の意思の実現〉といった患者・家族の意思決定を尊重し、実現に向けて具体的に行動する役割が示された。

4. 【患者の療養生活を支える家族に焦点をあてた支援】

このカテゴリーは4サブカテゴリーから構成され、〈家族

表2 「看護師の役割」の分析結果

カテゴリー	サブカテゴリー	抽出された108項目のうちの代表的な記述
退院後も安全かつ安心して療養生活を送るための関わり	在宅療養に必要な援助技術の指導	必要な医療処置の自立に向けた支援
	患者・家族の個別的な状況に応じた教育的指導	準備状態にあわせて介入を見極める
	出現している身体症状の緩和	身体症状の緩和のための援助
	在宅療養に備えた心身の状態の維持・向上	病状の悪化に備える
退院支援の必要性の判断と支援の方向性の検討	退院後も安心して療養できるような環境の調整	患者・家族への相談窓口の提示
	患者・家族が前向きに退院後の生活を再構築するための関わり	退院後の新たな生活の再構築に向けた援助
	多様な状況にある患者・家族のアセスメント	多様な状況にある患者の情報収集・判断
	退院支援を進めるためのスクリーニングと問題の明確化	退院後の生活に支障をきたす恐れのある潜在的な問題の兆候を把握する
患者・家族の意思や希望の尊重と実現に向けた関わり	退院後を見据えた予測を基盤とした支援の方向性の検討	入院時に退院調整で看護師に求められる役割の予測をもつ
	患者・家族の現状の認識と退院支援の必要性の理解を促す	患者・家族に退院支援の必要性を説明し了解を得る
	患者・家族の意思や希望の尊重	意思決定への支援と問題の明確化
	患者・家族の意思の実現	患者・家族の意思を実現する
患者の療養生活を支える家族に焦点を当てた支援	患者・家族と話し合う機会を持つ	患者・家族との面談
	患者と家族の関係性を保持するための配慮	患者の心情を汲んで両者の関係性に配慮する
	在宅療養へ移行する患者を抱える家族の思いの支持	家族の気持ちを支える
	家族の負担軽減に向けたサポート	家族の状況を的確にとらえたサポート
退院支援が円滑に進むための体制の整備と調整	家族の日常生活を維持するための支援	生活の場の変更に伴う家族への支援や代行
	家族との関係性の構築と情報の共有	患者だけでなく家族との信頼関係と援助関係を意識的に築く
	退院支援に関する院内システムの整備	退院調整の基盤づくり
	多職種・他機関と連携した支援体制の整備	他機関との連携・支援体制づくり
患者・家族と院内外の医療者をつなぐ関わり	円滑な退院支援進行のためのコーディネート	課題解決へのコーディネート
	適切な社会資源の活用に向けた情報提供と調整	地域でのサービスに関する説明と提供可能なサービスの確認
	患者・家族の代弁者となり、医療者へ意見をつなぐ	退院に向けての患者・家族・医療者との意見調整
	家族と医療者の関係性をつなぐ	家族と医療者の距離を近づける
看護師の退院支援の実践能力を向上させるための教育支援	患者・家族に関わるスタッフ間の情報をつなぐ	院内外のスタッフ間で必要不可欠な情報を確実につなぐ
	院内外の関係者と患者・家族の関係づくりの促進	他施設や院内の他職種間や他職種と患者・家族間の仲介
	退院後に継続が必要な看護の引き継ぎ	訪問看護師にケア内容を伝える
	退院支援に関する看護職者の知識を高める	退院調整検討会の開催
	看護師の退院支援への取り組みに対する意識を高める	病棟チームとして退院支援に取り組む意識を高める
	病棟看護師に対する教育支援	病棟看護師を後方から支援する

の負担軽減に向けたサポート)〈家族の日常生活を維持するための支援〉といった患者を支える家族に焦点を置いた支援が役割として示された。

5. 【退院支援が円滑に進むための体制の整備と調整】

このカテゴリーは4サブカテゴリーから構成され、〈多職種・他機関と連携した支援体制の整備〉〈円滑な退院支援進行のためのコーディネート〉といった院内外の関係者間の調整機能が役割として示された。

6. 【患者・家族と院内外の医療者をつなぐ関わり】

このカテゴリーは5サブカテゴリーから構成され、〈患者・家族の代弁者となり、医療者へ意見をつなぐ〉〈患者・家族に関わるスタッフ間の情報をつなぐ〉といった関係者間の橋渡しとしての役割が示された。

7. 【看護師の退院支援の実践能力を向上させるための教育支援】

このカテゴリーは3サブカテゴリーから構成され、〈退院支援に関する看護職者の知識を高める〉〈看護師の退院支援への取り組みに対する意識を高める〉といった看護職者の実践能力向上に向けた教育的役割が示された。

V. 考 察

1. 退院支援を担う看護師の役割について

本研究の結果では、看護師の基本的な役割である患者の安全を守り、安楽な療養生活を送るための支援に加えて、退院後に継続する患者・家族の生活を見据え、家族に焦点を当てた支援が役割として認識されていた。長江⁴⁾は地域で展開する看護には、患者の生活を総合的に捉え、ともに暮らす家族全体の生活のあり方を把握した上で必要な医療やケアの方法を提案し、サービスにつなげる生活と医療を統合する力が必要であると述べている。本研究の結果からも、慣れない医療処置や介護を担う家族の負担や退院に伴い変化が予測される家族の日常生活を考慮し、患者の退院後も家族としての機能や関係性を維持できるよう支援する役割があると考えられた。

また、必要な支援の検討や患者・家族の希望の実現など、看護師自らが考えや判断を持ち、医療チームの中心となって主体的に退院支援を遂行する役割があると考えられた。看護師がイニシアチブを発揮して退院支援を行うためには専門知識の獲得や実践能力の向上を図る必要性があることから、看護師に対する教育支援を看護職者自らが担うこと

を役割として認識していると推察された。

2. 連携・協働した退院支援に向けて

診療報酬の改定に後押しされる形で発展してきた背景をもつ退院支援は、今もなお新たな制度に改変され、看護師に求められる役割は変動し続けているといえる。本研究の分析対象文献では、退院支援を担うそれぞれの看護職の役割の専門性や、連携・協働に向けた役割調整に言及している文献は見当たらなかった。井上⁵⁾は、連携の条件の1つとして相手の業務内容の理解と専門性の尊重や、双方の仕事がみえるシステムを挙げている。したがって、退院支援を担うそれぞれの看護師が連携・協働するためには、制度に左右されない各々の専門性を明確にし、支援に活かすことが課題であるといえる。今後は退院支援を担う看護師が相互の役割の理解を深めるとともに、連携・協働体制の構築のためには各々の専門性や強みを明らかにする研究の必要性が示唆された。

本研究は平成29年度文部科学省科学研究費補助金【若手研究(B) 課題番号16K20716】の助成を受けて実施した。開示すべき利益相反はない。

引用文献

- 1) 厚生労働省：地域包括ケアシステム。
[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/\(2016-05-24\)](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/(2016-05-24))
- 2) Naylor M, Brooten D, Campbell R, et al : Comprehensive Discharge Planning and Home Follow-up of Hospitalized Elders : A Randomized Clinical Trial. JAMA281(7) : 613-620, 1999
- 3) Parry C, Coleman EA, Smith JD, et al : The care transitions intervention : a patient-centered approach to ensuring effective transfers between sites of geriatric care. Home Health Care Services Quarterly22(3) : 1-17, 2003
- 4) 長江弘子編著：生活と医療を統合する継続看護マネジメント。東京, 医歯薬出版株式会社, 2015, p102
- 5) 井上千津子：看護と介護の連携. 老年社会科学28 : 29-34, 2006

